

# 鶴の声

vol. 1  
2009.7

## 編集 staff

監修：片山 嘉政（鶴声会 副会長）

編集長：小山 陽介（鶴声会 事務局長）

製作スタッフ：岡村 晃平 新谷 太一

## 編集後記

同窓会会報誌を初めて発刊することとなり、非常に多くの皆さまにご協力をいただき完成することが出来ました。次回会報誌は平成22年6月の発刊を目指しています。卒業生の皆さまのご活躍を広くご案内させていただきたいと思いますので、是非様々な情報をお知らせ下さい。



片山 嘉政

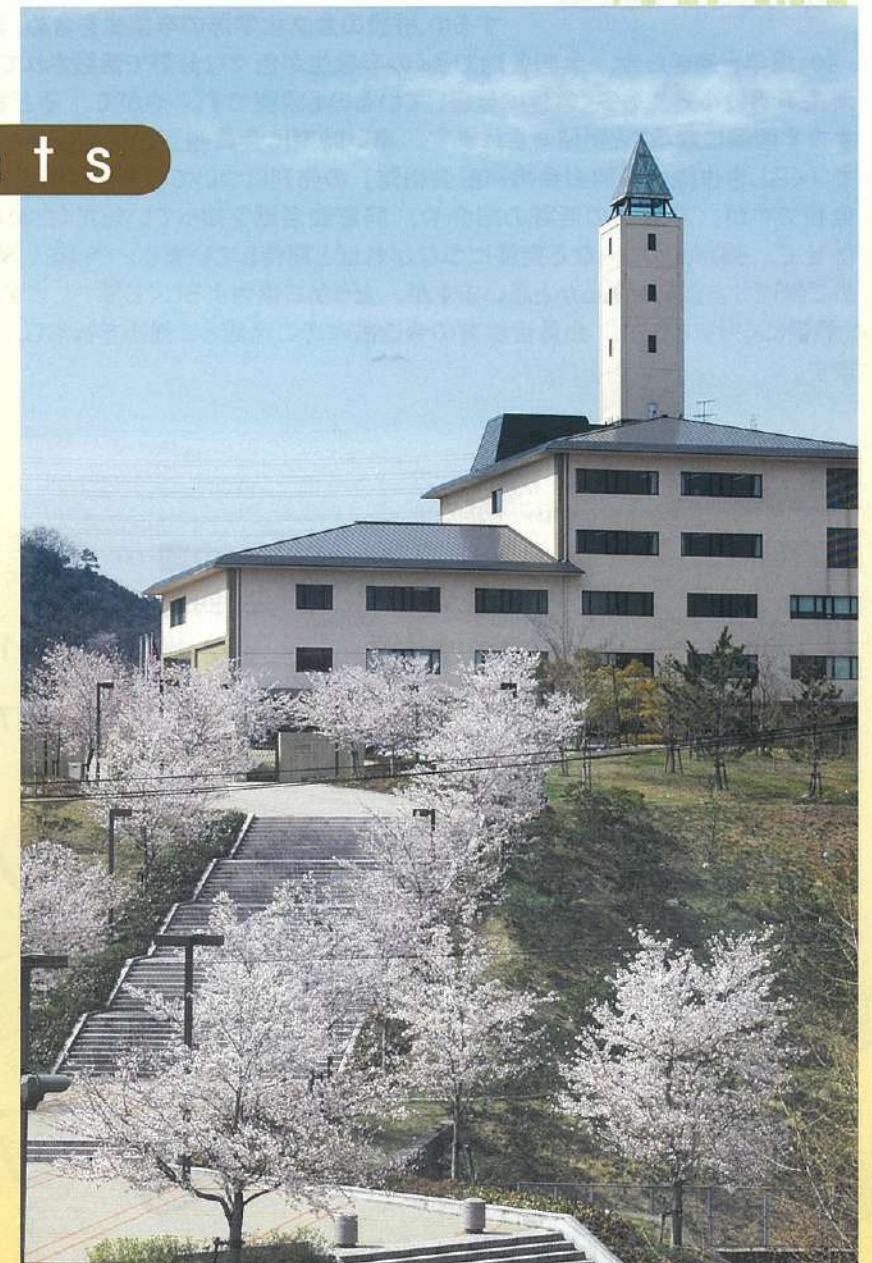
## contents

### 同窓生の声

鶴声会近況報告

くらしき作陽大学イベント情報

他



くらしき作陽大学同窓会鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾 3515

TEL.086-523-0888

FAX.086-523-0811

katayama@ksu.ac.jp



# ごあいさつ

## くらしき作陽大学鶴声会 会長 井端 豊実

(音楽学科4期生)



満開の桜から目に鮮やかな新緑に変わる頃になると、何年経っても思い出されるのが懐かしい津山の風景です。桜の名所「鶴山公園」、日本庭園の「衆楽園」、思い出のステージ「津山文化センター」、吉井川の清流の丘に立つ学舎と「作陽音楽大学」の大きな看板。全てが仲間と共に音楽に没頭し、音楽の厳しさや楽しさを知った学生時代の懐かしい思い出であり、心の財産となっています。

さて、現在のくらしき作陽大学同窓会「鶴声会」は、津山時代の作陽音楽大学としての単科大学から、倉敷への移転に伴い、くらしき作陽大学と改称する中、併設の食文化学部卒業生を含め、すでに7,600名を超えています。

40周年を過ぎた今、全国各地で多くの卒業生が色々な分野で活躍されており、嬉しい限りですが、反面、消息不明の卒業生も多く掌握に苦慮しているのも現実です。やがて、子ども教育学部の卒業生も加わり、ますます困難になることが懸念されます。早い時期に会員相互の情報交換ができればと考え、昨年の幹事会で「くらしき作陽大学同窓会鶴声会会報誌」の発刊について検討し審議決定致しました。初めての会報誌の発刊ですが、卒業生の活躍の紹介や、同窓会活動を知っていただくための情報誌になればと考えており、併せて、鶴声会のさらなる発展につながればと期待しています。今後、事務局より皆様へ原稿依頼など含めご無理なお願いがあるかと思いますが、どうかご協力よろしくお願いします。

最後になりましたが、会員皆様方の今後益々のご活躍とご健勝を祈念し、発刊のあいさつとさせていただきます。

### 各県別会員数

(平成21年4月現在)

- 北海道・東北…36
- 中国…3097
- 関東…175
- 四国…814
- 中部…128
- 九州・沖縄…1176
- 近畿…749

計…6175



他  
海外在住者…33  
物故者…25  
住居不明者…1447

# ごあいさつ

## くらしき作陽大学 学長 松田 英毅

まつだ ひでき



このたび、くらしき作陽大学鶴声会の会報が創刊され、まことにおめでとうございます。今や約7,600名の会員諸氏は全国各地でいろいろな分野で重要な働きをされ頑張っておられることと思います。

大学は創立45年になりますが、その間発祥の地津山から現在の倉敷市に移転(平成8年)という大事業を無事に終え、新天地で根をはり大きく成長しようとしています。移転の成功は偏に卒業生の方々の社会への真面目な取り組みがあつてのことでありました。

移転の翌年に食文化学部を創り、昨年より、短大幼児教育学科の卒業生の希望もあり新しい時代に即した子ども教育学部をつくりました。「音楽」、「食文化」と「子ども教育」のユニークな3学部がこれからのくらしき作陽大学をつくっていきます。

音楽学部では昨年はオーケストラアンサンブル金沢と共演し好評を博しましたが、来年作陽学園が創立80周年になるためのイベントとして今年度プラハ交響楽団と共演する予定です。指揮は本学のオーケストラを日頃指導していただいている飯森範親氏です。また姉妹校のヴェルディ音楽院とオペラの共同上演を企画しています。

食文化学部では高い就職率と管理栄養士の国家試験のために日夜励んでいます。子ども教育学部では子どもの良き指導者を夢見て学生たちは精進しています。

世界的不況時の今も高い就職率を誇っていますが、大学院への進学者も増えていることから、音楽学部大学院修士課程音楽総合研究科を設置すべく準備を進めているところです。

卒業生の皆さんにおかれましては元気で一層のご活躍を祈りますとともに母校にもお立ち寄り下さり大学の現状を見ていただければ幸いです。

### 年度別会員数

卒業年	音楽学科	音楽教育学科	食文化学科	栄養学科	フードシステム学科	合計
1970年	77					77
1971年	77					77
1972年	109					109
1973年	96					96
1974年	96					96
1975年	102					102
1976年	144					144
1977年	154					154
1978年	145	音楽教育学科				145
1979年	141	41				182
1980年	115	50				165
1981年	112	55				167
1982年	115	54				169
1983年	114	59				173
1984年	113	52				165
1985年	118	59				177
1986年	122	61				183
1987年	122	64				186
1988年	101	53				154
1989年	96	41				137
1990年	76	62				138
学科別合計	4634	1721	762	398	105	総計7680



# 鶴声会近況報告

事務局長 こやま ようすけ  
小山 陽介

謹啓 ぐらしき作陽大学鶴声会会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素はぐらしき作陽大学鶴声会運営にあたり格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。2006年ぐらしき作陽大学が創立40周年を迎え、はや3年が経過いたしました。第1期生が名付け親の「鶴声会」も40年で約7,600名が会員となり、日本各地で目覚しい活躍をしております。

さて、昨年の総会におきまして、新たな役員が決定いたしました。新会長には、副会長を務められていた井端豊実氏（S.48 学音卒）。新副会長には、安部欽也氏（S.52 学音卒）が就任されました。片山嘉政氏（H.02 学音卒）も副会長に留任されています。その他役員の詳細につきましては、鶴声会組織図をご参照ください。

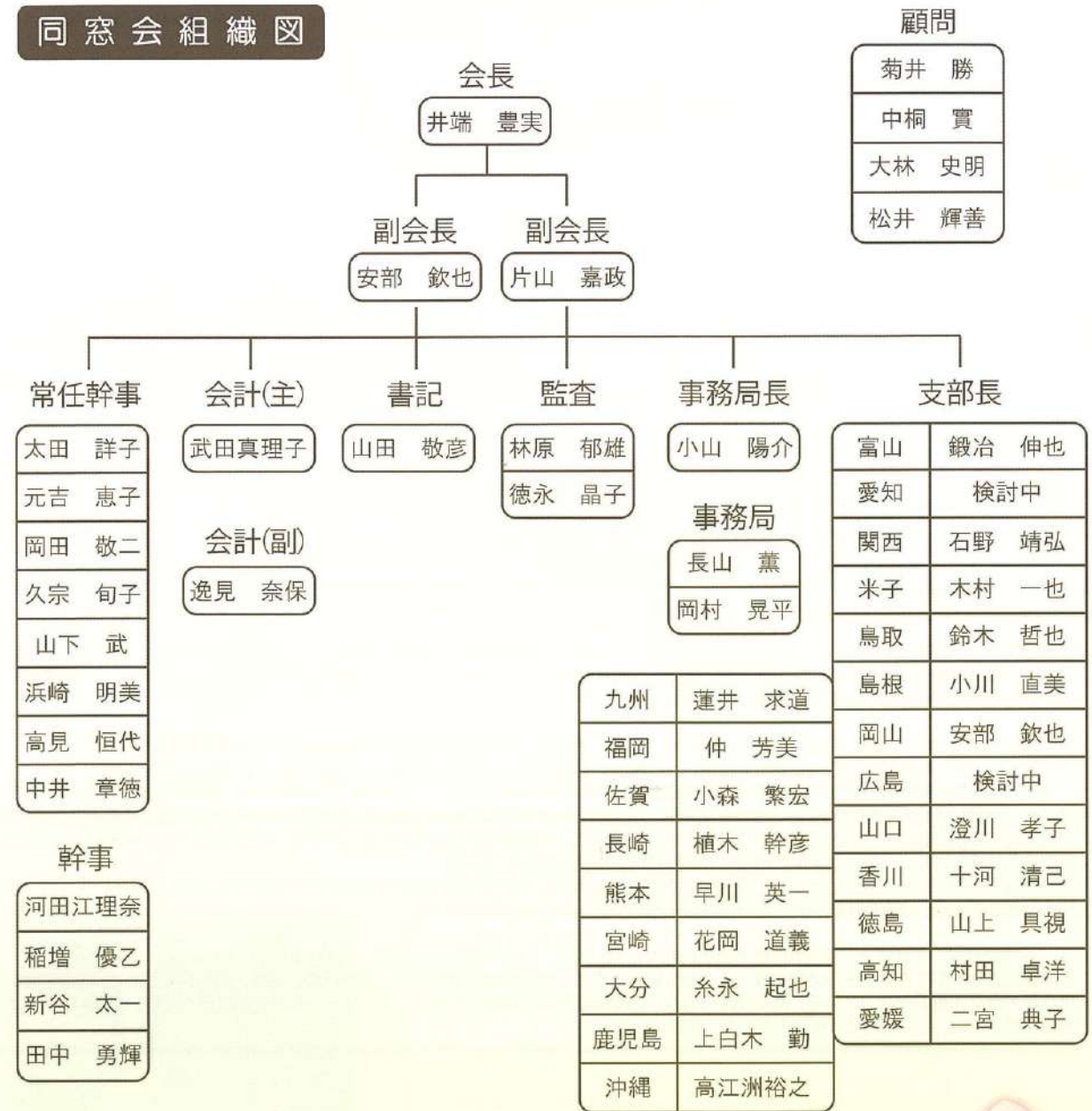
また、西日本を中心に各県支部の再構築が行われており、短大翠会（音楽）と合併し、一昨年には3つの地区に支部がございました福岡県におきまして福岡県支部発足、昨年は、兵庫、大阪、奈良、京都の支部が一つになり関西支部が発足しております。そして、来年、鶴声会高知県支部が創立35周年を迎えます。ほかにも年1度支部会員が集結し、情報交換や近況報告を行っている県支部もあり、県支部ごとの活動も活発になってきております。鶴声会では、大学とタイアップし、中・四国を中心に吹奏楽クリニックを年5回開催や九州におきまして、新人紹介演奏会 in 九州を開催し、県、地域における会員相互の交流を深め、県支部の活性化となるよう活動しております。昨年は福岡市、熊本市で開催し、今年は、5月29日（金）北九州市、7月4日（土）鹿児島市（サンエールかごしま）にて開催いたします。



そして、来年平成22年は2年おきに開催しておりますぐらしき作陽大学鶴声会総会の年であります。現在、高知県での開催を予定しております。詳細が決定次第ご連絡いたしますので、会員の皆様におかれましては、ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ぐらしき作陽大学鶴声会を運営するにあたり、絶対に欠かせないのは、会員の皆様のご協力であります。鶴声会発展のため、母校のため、今後とも会員皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 同窓会組織図



## 関西支部より



関西支部長 いしの やすひろ  
9期生 石野 靖弘

作陽音楽大学・作陽短期大学音楽科・ぐらしき作陽大学と同窓生の活躍はめざましく、活動も多岐にわたっております。関西圏での卒業生も1,000名を超え、諸先輩方のご協力のもと昨年同窓会関西支部を立ち上げました。

新旧同窓生の交流親睦等を図るため、本年5月6日、「第2回ミニコンサートと親睦会」を開催いたしました。毎年5月連休最終日開催を恒例にしたいと思っております。関西在住の方は是非ご参加下さい。

関西支部のHPも立ち上げております。コンサート・公演等の案内やご意見などもお寄せ下さい。

[http://www.geocities.jp/sakuyo\\_kansai/](http://www.geocities.jp/sakuyo_kansai/)



# 同窓生の声

なかむら あきお  
中村 明夫 平成6年度卒業 学音 テューバ専攻



① 私がこの世で唯一、頭が上がらない存在、チューバの松下晃一先生、管楽器プレーヤーの本質を見せてくれた故戸澤宗雄氏、音楽の本質を語ってくれた上岡洋一氏、気さくに話さずにはいられなかった松田英毅学長

② 東京の音大に不合格となり、作陽へ進んだ。田舎の地方大学だからとナメられないように、必死で練習し、他大学の学生とも積極的に交流しながら、自分を磨いていった。

今思えば、津山は自分と向き合い、集中するには最高の環境だった。ただひたすら、朝から晩まで楽器さったり、友人達と夢を語り合った。

大学はとにかく個性を尊重し大切にしてくれた。型にはまるのが大嫌いな私のような人間が、のびのびと音楽に打ち込めたのも作陽だったからこそであると思う。講義を受けている先生方はもちろん、学長はじめ、全ての職員が私の顔を覚えてくれ、声をかけてくれる。人間を大切にしてくれる学校だった。作陽を選んで本当に良かったと思う。卒業後も、この思いは強くなるばかり。

節目節目には学長も会いに来てくれたりするし、先生方も勤務校の吹奏楽部の指導やなんやで、長崎まで足を運んで下さる。平成10年には当時の勤務地「島原」へ、平成17年には、当時の勤務地、国境の島「対馬」まで吹奏楽団をも派遣してくれた。このような暖かい大学の卒業生であることを誇りに思う。

③ 長崎の県立学校で教鞭を執っている。対馬という離島に赴任し、学校に9年勤務し、吹奏楽部を県を代表するレベルまで育て上げた。地域の方々からも強く支持され、行政なども巻き込み、吹奏楽を通して対馬を盛り上げることができた。

現在は、佐世保東翔高校という 総合学科で芸術系統があり、楽器やソルフェージュまで授業がある、県内でも特に音楽に力を入れた学校に勤務している。部活動は私にとって未知の世界であったマーチングが中心で、正直戸惑っていたが、音楽の本質を伝えながら、吹奏楽を一つの芸術として高めるため、生徒達と音楽を通して、毎日語り合う日々を過ごしている。もちろん、チューバも県内の高校と協奏曲を共演したり、アンサンブルを組んだりと積極的に演奏活動をしている。

特異なキャラのせいもあり、テレビにも多く出演したし、現在はラジオの吹奏楽専門番組パーソナリティとして毎週レギュラー放送するなどしている。いろんな意味で目立ち度は高いと思う。

④ 在学時代は、生意気で、周囲の皆様や職員の方々には、大変、失礼が多かったこと、お詫び申し上げたい。

周囲を見ると、作陽の卒業生の活躍の華々しさは、嬉しく思う。特に吹奏楽分野での、同世代の活躍は、頼もしくもあり、自らを奮い立たせる大きな原動力となっている。遠く長崎の地から、母校の更なる発展を祈念し、自らも母校の名をあげるべく精いっぱい、音楽の道を突き進みたい。心に流れる「作陽の熱い血」を感じながら。

たけなか あらた  
竹中 新 平成9年度卒業 学音 トランペット専攻

写真左：竹中 新 右：森 一生（平成5年度卒業） 後ろ：福本 正樹（スタッフ）



① 鈴木一輝先生、林原郁雄先生、丹代茂先生、白濱俊宏先生。

② 学生時代は主科だけに関わらず、その他の先生や友達と知り合うことができ、様々なことを教えてもらうことができた。その時の繋がりが今では何よりの財産だ。

又、卒業後は楽器庫に勤務し、岸本さんに色々な楽器の扱い方や修理、メンテナンスについて教わった。その間に自分自身が楽器の故障で困ったことや先輩が困っていたことを思い出し、近くに信頼できる技術者がいてくれればどんなに安心できることだろうという思いが大きくなり、リペアの道へ進むことを決めた時代でもあった。

③ 平成21年5月、たましまに music support あうる OPEN!! 楽器（仕事）を通して地域社会の貢献と人材の育成をし、技術、サービス、自社の商品の質を高め、お客様の真の満足を追求するという経営理念のもと、音楽を楽しむ、携わるすべての方々へのサポート（リペア、調律、デザイン、演奏指導など）をしていきます。

④ 場所は津山から倉敷へと移りましたが、皆の思い出の地作陽に一番近い楽器工房として、お世話になった方々や地域の皆様へ恩返しのお気持ちを込めて頑張っています。近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さいませ。

現在、色々な分野で活躍している同窓生の皆様に学生時代の思い出など、お話をお聞きまし

- ①主科の先生または思い出の先生の名前
- ②学生時代の思い出
- ③現在の活動
- ④同窓生にメッセージ

① 林原郁雄先生、山下武先生

② 学生時代いろいろな場所で演奏をしました。特に印象に残っているのは、4年生の頃のイタリア演奏旅行です。ミラノ・ヴェルディ音楽院と合同演奏をはじめ、ミラノ各地での公演を通して、言葉が通じなくても音楽を通して、国境を越えることができるという普通では中々味わえない経験をする事ができました。

その他4年間、ウインドアンサンブルという吹奏楽のサークルに所属し、他の学科の人とも一緒に演奏することができ、幅広く音楽に親しむことができました。作陽での学生生活を通して音楽はもちろん、人間関係など、社会にでて重要なことを学ぶことができ充実した大学生活を送ることができました。

③ 現在、福岡県の北九州市消防音楽隊に所属しています。私達は北九州市内のいろいろな場所で吹奏楽の演奏とカラーガード隊による演技を通じて市民のみなさまに防災思想の普及をよびかけながら活動しています。また小、中学校を訪問し楽器の魅力や音楽の楽しさなども伝えています。

④ 大学を卒業し、私は、音楽を通して市民のみなさまに火の恐さや消防についてを伝えながら活動しています。演奏活動をする中で市民のみなさんの声に喜びを感じることも度々あります。これらの経験を活かし、私自身、今後、更なる成長して目指して行きたいと思えます。今後の皆様のご活躍をお祈りいたします。



なかた ゆきみ  
仲田 幸美

平成18年度卒業 学教 吹奏楽指導専修

いしかわ あきこ  
平成15年度卒業 食生活 比較食文化専攻 石川 顕子

① 川口洋先生（ゼミの指導教員）。

② 大学4年間は、多くの人と出会った素晴らしい時期でした。ボランティアサークルや温泉卓球部、バレーボール部、SSD（スキーその他同好会）における人との出会いにより、それまで引込み思案であった自分を変えることができたと思います。さらに、ゼミのメンバーと過ごした一年間は、短いながらも充実した日々であり、そこで得たことが現在の私の生き方の原点であるように思います。

③ 本年度から本学の栄養学科において、助教として勤務しております。

④ どんな分野でも必ず壁にぶつかるとは思いますが、諦めず、壁を破る努力をしていきたいと思います。私も頑張ります！

みやけ ひろこ  
三宅 博子 平成17年度卒業 栄養学科



写真左：三宅 博子 中：石川 顕子 右：室家 典子

① 金光秀子先生。

② ゼミで老人福祉施設を想定し、大量調理を行ったことです。献立作成や経営管理などなかなか思うようにはいかず苦戦しましたが食べに来て下さった方々の「おいしかったよ」という言葉のありがたさや自分達で考えたものが形になることの嬉しさや楽しさを実感することができました。

③ 本学で実習助手を行っています。食材の発注や提出物のチェック、プリントの印刷など担当科目がスムーズに行えるよう準備をすることが主な仕事です。いろいろな学生と接する中でさまざまな見方や考え方があり、その中から学ぶことが多くあります。

④ 同窓生の話や聞くと「私も頑張らないと」といつも励まされます。

むろいえ のりこ  
室家 典子 平成21年度卒業 栄養学科

① 山下静江先生。

② 私は社会人出身で編入生としてくらしき作陽大学へ入学し、今年の春に卒業しました。2年間という短い期間ではありましたが、地元である愛媛県松山市から毎日電車通学をして無事に卒業できたことは先生方そして仲間達の支えがあったからこそだと深く感謝しています。

松山の短大を卒業し、栄養士業務を経て管理栄養士を目指して入学したので、その目的に到達するために毎日努力しましたが、この2年間は社会やそして短大時代には経験できなかった貴重な体験をさせて頂き、人間として成長できたように思います。管理栄養士に必要な技術、知識の習得だけでなく先生方や友人とのつながりの中から多くのことを学べた大変充実した学生生活でした。

③ くらしき作陽大学、食文化学部栄養学科において国家試験対策に関する仕事をさせて頂いています。

④ くらしき作陽大学の卒業生であることを誇りに、人のため世のために努力できる人間でありたいですね。



# あの人は今…

作陽名物のあの人、  
なつかしのあの人は今…  
今回は第1期生で鶴声会初  
代会長を務めていただきま  
した菊井勝さんにご登場い  
ただきます。



菊井 勝さん (一期生)

### 経歴

S.38年4月・・・作陽短期大学入学  
S.40年3月・・・作陽短期大学卒業  
S.40年4月・・・奥津町立奥津中学校教員  
S.43年4月・・・作陽音楽大学 学3編入  
H21年4月現在 64歳

### ①現在は何をされていますか？

平成19年3月まで、くらしき作陽大学九州エクステンションセンターの所長として、勤めておりましたが、退職し故郷の岡山県和気町に戻り、家でのら仕事を楽しみながら、スローライフを過ごしています。

### ②学生時代の思い出を教えてください。

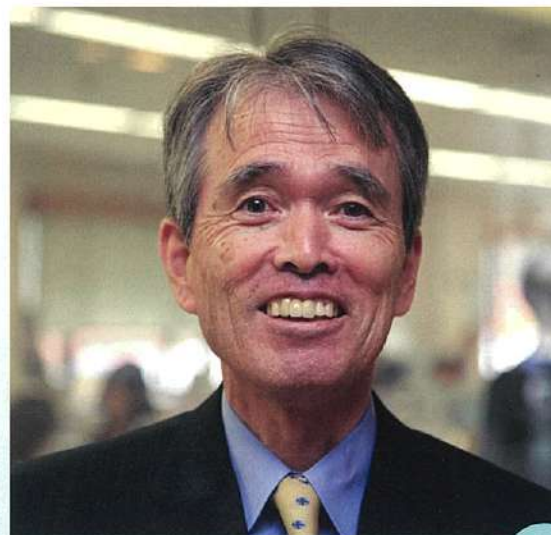
4年生の時、同期の友達と天田先生、稲田先生と一緒に城崎温泉に行ったことや、津山の商店の楽曲作成の依頼を受け、小編成のフルバンドを結成して作詞作曲を手がけ、津山市の商店街のアーケードに曲を流したこと、それから、そのフルバンドにて、バンドマスターをやらせていただき、著名なヴォーカリストのショーに出演したこと。あと、チャイコフスキー作曲の1812序曲が非常に難しかった事が思い出です。

### ③先程、何名かの先生のお名前が出てきましたが、印象に残っている先生の名前を教えてください。

先程のお話にも出てまいりました、天田先生（和声学、対位法）稲田先生（音楽理論）や仁木先生（保健体育）がとても印象的です。どの先生も非常に情熱的で涙が出るほど、とても良い先生です。あと、堤温先生に言われた「出来ないんじゃない、出来るんだ」と言う言葉はとても印象的で、今でも忘れません。

### ④たくさん思い出の詰まったキャンパスですが、学生時代好きだった場所などありますか。

大学（津山）の事務所の前にある噴水から吉井川を通して見え鶴山公園の桜は最高でした。そこが一番好きな場所です。



### ⑤最後に卒業生の方にメッセージをお願いいたします。

学生時代は、楽しい思い出ばかりでした、皆さんとその思い出が語りたいたので、同窓会総会に来てください。そこでたくさんお話をしましょう。



## 作陽知っ得情報

卒業生の皆様、下記のような制度は、ご存知でしたか。このコーナーでは、あまり知られていない、卒業生の皆様に知っておくとお得な情報を、お知らせいたします。

### 1 入学優遇制度

受験の父母が本大学・短期大学の卒業生の場合、入学後、入学金相当額が給付されます。

### 2 教員免許状更新講習の実施

くらしき作陽大学では、下記の通り、教員免許状更新講習会を実施いたします。

詳しくは、くらしき作陽大学HPをご覧ください。

開設講習名：リコーダーと打楽器を用いた器楽と創作の一体化

開設講習名：音楽家教育における合唱指導の在り方

開設期間：平成21年8月18日、21日、22日

開設期間：平成21年8月24日～平成21年8月25日

担当講師：中桐 貴（くらしき作陽大学准教授）

担当講師：岡部 申之（くらしき作陽大学教授）

有道 惇（岡山大学名誉教授）



住所不明者一覽

学音...音楽学部 音楽学科 学教...音楽学部 教育音楽学科 食生...食文化学部 食生活学科 栄養...食文化学部 栄養学科 フード...食文化学部 フードシステム学科

- 70年 学音 伊勢田 明美 育津子 永宮崎 西木 香高 黒田 佐々田 山松 西岡 早尾 尾服
71年 学音 緒川 文子 中元 中浜 山片 新大 岩川 古木 沼馬 水村 森竹 比大 兼池 岡乙 滝太 堤中 野藤 松村 中山
72年 学音 駒中 唐大 本増 真田 河国 中増
73年 学音 推重 鬼川 増子 津部 田山 岡重 末小 野芝 三上 野甲 野日 合大 坂谷 本増 真田 河国 中増
74年 学音 澤尾 河小 日近 尾山 吉常 河小 平須 江永 田松 胡吉 宮内 高伊 三有 岡砂 竹野 田丸 山丸 渡新 井保 田野 草谷 森曾 丸睦 水野 宮小 松伊 白尾 玉加 藤二 岡影 山取 高森 古小
75年 学音 新井 保野 草谷 森曾 丸睦 水野 宮小 松伊 白尾 玉加 藤二 岡影 山取 高森 古小
76年 学音 岩崎 藤島 谷中 人神 三山 年加 高岩 羽大 掛谷 西新 立浜 坂宮 工八 桐真 多浜 今大 三弓 松藤 曾平 山小 美時 居泉 改野 島本 村相 田田 村国 屏山 荒八 平野 戸澤 赤大 小佐 武戸 永島 広永
77年 学音 宮下 横林 野岡 藤原 佐木 川岸 三浅 石川 粉中 下西 宇野 浅合 白高 池田 石中 野野 富藤 安池 岩上 小下 茂堤 野村 室山 崎米
78年 学音 園三 塚山 藤川 堀山 宮二 畑岡 本多 西高 丸内 緒清 未
79年 学音 高小 犬坂 大田 大村 内林 出戸 白山 青城 佐野 野菅 尾崎 猪中 河小 下中 宗吉 松
79年 学教 原野 宇在 大村 小永 井
80年 学音 上甲 富太 羽橋 堀岩 平喜 今長 百武
80年 学教 我丸 角杉 前山 岩家
81年 学音 須賀 悦光 典茂 妙さ 清岡 北仲 藤山 清相 久小 松山 三岡
81年 学教 太頭 森飯 松工 福石
82年 学音 吉堤 高才 友和 児浜 佐吉 平森 吉田 中
82年 学教 永西 村井 富野
83年 学音 田早 新高 山新 篠吉 平片 吉米 柴
83年 学教 田早 新高 山新 篠吉 平片 吉米 柴
84年 学音 野中 大里 小横 永松 宮清 小江 川勝 高木 杠
84年 学教 鐘塩 三西 齊丸 成松
85年 学音 近守 樋口 崎本 浦木 本渡 神中 川原 田外 渡池 友
85年 学教 杉原 中村 赤宇 間高 高
86年 学音 野中 島下 月野 本野 嶋並
86年 学教 日野 中久 若板 山橋 池日 瀧梶
87年 学音 新田 石小 谷大 石近 山江 齊吉 東内 本山 中井 中石 渡南 渡井 乙川 添
87年 学教 杉原 中村 赤宇 間高 高
88年 学音 内松 本野 井中 田下 川三 新湯 出黒
88年 学教 森竹 小粉 藤安 山中 吉渡 原瀧 河野
89年 学音 則柴 嶋山 杉山 石赤 中由 齋廣 高上 高廣 松木
89年 学教 細前 大西 高野 松池 冲原 浅吉 伊
90年 学音 本池 大小 西岡 阿竹 森人 小松 安
90年 学教 國石 木山 池草 池裏 前高 五沼 橋片 藤小 重赤 平森 武山 谷大 大河 上吉 本西 北中 斐
91年 学音 石木 山池 草池 裏前 高五 沼橋 片藤 小重 赤平 森武 山谷 大大 河上 吉本 西北 中斐
91年 学教 宮茂 平新 大今 中池 松
92年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
92年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
93年 学音 野村 渡東 山太 鶴美 熊波 折長 黒渡 柴橋 神河 木野 市大山 三宮 佐野 井日 天加
93年 学教 野村 渡東 山太 鶴美 熊波 折長 黒渡 柴橋 神河 木野 市大山 三宮 佐野 井日 天加
94年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
94年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
95年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
95年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
96年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
96年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
97年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
97年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
98年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
98年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
99年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
99年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
100年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
100年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八

- 81年 学音 須賀 悦光 典茂 妙さ 清岡 北仲 藤山 清相 久小 松山 三岡
81年 学教 太頭 森飯 松工 福石
82年 学音 吉堤 高才 友和 児浜 佐吉 平森 吉田 中
82年 学教 永西 村井 富野
83年 学音 田早 新高 山新 篠吉 平片 吉米 柴
83年 学教 田早 新高 山新 篠吉 平片 吉米 柴
84年 学音 野中 大里 小横 永松 宮清 小江 川勝 高木 杠
84年 学教 鐘塩 三西 齊丸 成松
85年 学音 近守 樋口 崎本 浦木 本渡 神中 川原 田外 渡池 友
85年 学教 杉原 中村 赤宇 間高 高
86年 学音 野中 島下 月野 本野 嶋並
86年 学教 日野 中久 若板 山橋 池日 瀧梶
87年 学音 新田 石小 谷大 石近 山江 齊吉 東内 本山 中井 中石 渡南 渡井 乙川 添
87年 学教 杉原 中村 赤宇 間高 高
88年 学音 内松 本野 井中 田下 川三 新湯 出黒
88年 学教 森竹 小粉 藤安 山中 吉渡 原瀧 河野
89年 学音 則柴 嶋山 杉山 石赤 中由 齋廣 高上 高廣 松木
89年 学教 細前 大西 高野 松池 冲原 浅吉 伊
90年 学音 本池 大小 西岡 阿竹 森人 小松 安
90年 学教 國石 木山 池草 池裏 前高 五沼 橋片 藤小 重赤 平森 武山 谷大 大河 上吉 本西 北中 斐
91年 学音 石木 山池 草池 池裏 前高 五沼 橋片 藤小 重赤 平森 武山 谷大 大河 上吉 本西 北中 斐
91年 学教 國石 木山 池草 池裏 前高 五沼 橋片 藤小 重赤 平森 武山 谷大 大河 上吉 本西 北中 斐
92年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
92年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
93年 学音 野村 渡東 山太 鶴美 熊波 折長 黒渡 柴橋 神河 木野 市大山 三宮 佐野 井日 天加
93年 学教 野村 渡東 山太 鶴美 熊波 折長 黒渡 柴橋 神河 木野 市大山 三宮 佐野 井日 天加
94年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
94年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
95年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
95年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
96年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
96年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
97年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
97年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
98年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
98年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
99年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
99年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八
100年 学音 井黒 水田 中森 炭岩 石古 森大 流中 宇前 坂藤 綾村 吉川 井柳
100年 学教 内伏 松南 千水 広岩 野澤 島西 岡木 河槽 中堀 古八



